「大阪大学の次世代型市民講座 2016」―開催報告―

大阪大学サイバーメディアセンターでは、平成28年10月29日から2週間にわたり、大阪市・池田市の市民を対象に「大阪大学の次世代型市民講座2016～インターネットによる外国語学習へのお誘い」を言語文化研究科、文学研究科と共催で、また、工学研究科からのご協力も得て開催しました。外国語（英語、ドイツ語、中国語、日本語）を楽しみながら効果的に学んでいただきました。

この講座は、サイバーメディアセンター マルチメディア言語教育研究部門にて開発を行う「WebOCMnext」を活用し、インターネットを利用してパソコンで学習するもので、3回目である今回の申込者は364名であり、厳正な抽選により230名の受講者を選出しました。「WebOCMnext」は学習状況をビッグデータとして蓄積し、リアルタイムでそれを確認することが可能です。また、能動的な学習を促すことができる「ダイナミック教材」をも備えており、これにより効率的かつきめ細やかな指導が可能となります。その結果として、初回の2014年から一貫して好評を博し、現時点でのアンケート回答（107名）では 90% を越える回答者が次回以降の参加を希望しています。修了率も 50% を超え、他の種のネットタイプの講座に比して、遥かに高いと言えます。

受講生からの多様なご意見を参考に、今後は全国から参加者を募ることも視野に入れ、地域のさらなる発展、活性化に貢献したいと考えています。

サイバーメディアセンターで開催された修了式の様子